【 147 】

氏名	小 川 晃 弘
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	博乙第1965号
学位授与の日付	昭和63年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**鼻・副鼻腔癌の病理学的検討** **第1編 腺 癌—腺癌20症例の組織発生学的考察を中心に—** **第2編 扁平上皮癌—特に化生及び異形成との関係について—**
論文審査委員	教授 赤木忠厚 教授 粟井通泰 教授 松尾信彦

学位論文内容の要旨

四国がんセンターでの鼻・副鼻腔の生検材料に特殊染色を用いて主として組織発生学的に検索した。

腺癌については20症例を被蓋円柱上皮から発生し大腸癌に類似した組織像を呈する被蓋上皮型5症例と，唾液腺由来の腫瘍に類似した組織像を呈する分泌腺型12症例と，腺扁平上皮癌3症例に分けて比較検討した。組織内ＣＥＡを見ると，被蓋上皮型腺癌では腺癌部に，分泌腺型腺癌では導管上皮型腺癌部にそれぞれ強く陽性を認め，また腺扁平上皮癌では腺癌部及び扁平上皮癌部に陽性を認めた。各種腺癌組織型の組織発生を検討した。

扁平上皮癌については62.2％に扁平上皮化生を認め，扁平上皮癌の発癌に扁平上皮化生が関連している可能性が示唆された。また少数ではあるが化生～異形成～上皮内癌への移行をみる症例が存在しこのことを裏付けた。サイトケラチンの組織内分布も併せて扁平上皮癌の組織発生について考察した。

論文審査の結果の要旨

本研究は鼻・副鼻腔の腺癌，扁平上皮癌について，免疫組織染色を用いて病理学的検索を行ったものであるが，従来十分に解明されていなかった腫瘍の組織発生について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。